私のギャラリー

My gallery.

Anthia ～アンティア～

モルタルデコ®

妖精の住む庭をイメージして

三角屋根にレンガの壁、少しくすんだ色彩。
まるでヨーロッパの童話の中に入り込んでしまったような風合い。
粗い質感と所々欠けたような造形が、
長くそこにあったかのような重厚さを感じさせる。

ソーラーで光るとんがり屋根のお家

アンティア
Anthia さん

Instagram　@atelier_anthia
公式LINE　lin.ee/U1v4uYo

イベントや教室のお問い合わせは
InstagramのDM（ダイレクトメッセージ）
または公式LINEへ

切り株の鉢

秋田市で「モルタルデコ®」の認定講師として活動するAnthiaさん。「モルタルデコ®」はsanaegardenが登録商標しているモルタルを使ったガーデンクラフト。その世界観に魅せられ、講師になるためのレッスンを受けて昨年県内で唯一の認定講師となった。不定期でワークショップや教室を開く傍ら、自身も作品作りを続けている。

断熱材で土台を作り、その上からモルタルを塗る。大まかな形を作ったら半乾きにし、削るように細部を造形。完全に乾いたらアクリル絵の具で着色する。扉の取っ手や窓枠も全て手作り。針金をたたいたり、丸めたり、はんだごてで接合するなどして形を作り、サビ感が出るように着色。完成までに2日間を要する。

コーティング剤を施してあるので屋外に置くこともできる。雨風で汚れてもそれが味。時間の経過がさらに作品を味わい深いものにしていく。屋根の中に仕込んだソーラーパネルが日中電気を蓄え、夜になると窓からほのかに明かりがもれ出す。その様子はそこで妖精が生活しているかのよう。

Anthiaさんの作り出す作品は優しい色彩とアンティーク感漂う質感が特徴。

「クラフトは自分好みに仕上げられるのが醍醐味。好きな作品を庭に置けばお気に入りの空間になり、眺めているだけでワクワクします。ワークショップでは皆で同じ作品を作りますが、細かい部分の造形や色が変わるだけで世界に二つとない個性的な作品になります。今後はイベントへの出店、教室なども再開していきたい」と意欲的に話すAnthiaさんだった。

小さなお家の鉢

リーフハウス（ソーラー）